

## 赤岳主稜冬季登攀 南沢小滝アイスクライミング

日時 : 2009 3月 7日(土)8日(日)  
山名 : 八ヶ岳 赤岳  
形態 : 冬季登攀 アイスクライミング  
メンバー : リーダー勅使河原 常谷 鈴木  
報告 : 鈴木

6日(金)21時 富屋出発 7日(土)2時頃だったか?美濃戸口に付く 車中仮眠するが眠れず・・・

思えば「八ヶ岳に行きたい」と言い出したのは 私だったかもしれない・・・勅使河原さんが立ててくれた計画は冬季登攀&アイスクライミング 数日前から緊張のせいか体調を崩し風邪気味・・・  
足手まといになって 私が原因で敗退・・・となる事だけは避けたい 今回は頼れる所は頼らせて頂こう  
7日(土)6時 準備した共同装備を二人に託し 個人装備の15キロ弱のザックを背負い 出発  
計画は初日アイスクライミングの予定だったが 天気があまりにも良く 明日は曇りの予報だったので  
リーダーの判断で このまま 赤岳を目指す事になり 南沢への分岐を確認しつつ 行者小屋を目指す  
8:30 途中景色が開けた所で大同心 小同心が見え しばし感動・・・ とにかく登りが遅れ気味で  
ほとんど 一人で歩く私に「先にいくから自分のペースで・・・」の言葉を残し 更に二人は先に行ってしまう  
まだかまだか・・・と一人足を進めて行く 9:00 行者小屋到着 二人は既に テント設営準備に取り掛かっている  
「鈴木さんは 休んで体調調整えて・・・」の言葉に これからの登攀に向けて 残る体力温存のため  
自分の登攀準備だけに集中できたせいで アプローチはなんとか遅れずに同じペースで歩ける  
途中まで先行パーティのラッセル跡を歩くが 追い越すと かなり急登な稜線を 自分達がラッセルする事に・・・  
せめてラッセル位は参加せねば・・・と 私が先頭を歩きラッセルする場面もあり 一瞬でも役に立てたかな?と  
思いながら 11:30 文三郎道から取り付きへの分岐にたどり着く 急斜面をトラバースして取り付きに向かうのだが  
私はスタンディングアックスビレイをお願いして トラバース 取り付きへ到着 12:00 いよいよ登攀開始  
勅使河原さんがオールリード 常谷さんがザックを背負い 私はビレイに集中する  
1ピッチ目 出だしから 岩場のアイゼン登攀!! いきなり厳しい洗礼を浴びる・・・  
中間地点を含む下部は200M・・・ かなりロープをギリギリまで出したので確か5ピッチ位に分けたのか?  
残念ながら必死すぎて記憶がない(汗) 7ピッチ目(多分?)の上部核心のあたりにきた頃には  
かなり疲れも出始める ビレイ&クライムを繰り返して ずっと飲まず食わず・・・スタミナ切れ気味・・・  
常谷さんのシリアルバーを 勅使河原さんと半分ずつ分け合い 上部核心へ・・・  
古賀志の三級ルートでのアイゼントレでは アイゼンの置き場を慎重に選び グローブをした手で  
ホールドをしっかりつかんで練習・・・していたはずだったような・・・  
しかあ～し!! 本チャンはそんな事やってる場合ではな～い!  
時間は刻々と過ぎ・・・後続パーティは迫ってきて・・・スピードはかなり重要・・・  
リードは慎重でも 上でビレイはしてもらっているフォローは できる限り素早く確実に・・・  
アイゼンの爪の置き場など時間を掛けて慎重に選んでいる場合ではない  
「こんなシチュエーションでこんなフリーみたいなムーブありか?」とつぶやきながらも  
テンションはかけないよう 登攀を進めて行く・・・  
残りの8・9ピッチ目・・・常谷さんにビレイを代わってもらい いよいよ稜線へ・・・  
天気がすばらしく良いおかげで感動の景色が広がる・・・16:30 いよいよ赤岳山頂!!  
とうとうやっちゃったあ!!(感激!) 入門ルートとはいえ・・・頼りつきりとはいえ・・・冬季登攀!!  
360度の大パノラマ!! 富士山 八ヶ岳 北アルプスの山々・・・槍ヶ岳も見える!! 頂上の景色をしばし堪能  
テルモスの中身を三人で飲み干す でも 時間は迫る 行動食をとる間も惜しんで  
16:40には 下山開始 出だしの急降下部分だけ ボディビレイしてもらい  
あとは なんとか慎重に急な稜線をひたすら下る・・・  
常谷さんは普段から雪山縦走慣れしているのでどんどん下っていく・・・途中 先にテン場で夕食の準備します と  
先行下山していく 私はここで 滑落なんてしたら大変!と 1歩1歩アイゼンを決めて確実に下りていく  
勅使河原さんが後ろから励ましてくれる 段々日が暮れていくが テン場は目の前・・・  
気分を満喫しながら・・・景色を堪能しながら・・・ 18:00 真っ暗に日が暮れるほんのちょっと前にテン場到着  
常谷さんの笑顔を見たら やっと達成感が込みあげてきて 涙がにじむ・・・  
山頂でも達成感はあったものの まだまだ下りがある・・・思っていたが 緊張の糸が ふっ・・・と切れた気がした・・・

食担 常谷さんの 具沢山クリームリゾット トマトシチュー フランスパンの 欧風ディナーを堪能して  
明日にそなえ就寝準備 今回軽量化という事で 私の2~3人用テントを3人で利用する事に・・・  
狭いけど これはこれで 生活技術の勉強になる  
隣の団体さんテントから 次から次へと聞こえる山の歌を子守唄に・・・ 夜も暖かく眠れた・・・

8日(日)4:00 起床 朝食はお赤飯に味噌汁(オカズ付き) 準備を整え テントもたたみ  
5:50 行者小屋を後に アイスクライミングをするため 南沢大滝小滝へ向かって下山  
6:40 南沢到着 大滝も気になったが 取り付きパーティもいたし  
昨日の疲れと 今回2度目の私と常谷さんの経験を考慮してもらい だれも取り付いていない小滝にきめる  
勅使河原さんがリードして トップロープを設置 3~4本づつ アイスクライミングを楽しむ  
私は最初の1本目は上までいけず ヒドイものだったが 3本目には 今シーズン1番私なりに上手くできた・・・

だんだん小滝にも人が増えてきたが 中に一人だけ 完全にフリーソロでロープもつけずに  
アイスクライミングをするお姉さんが現れた!! ロープは端っこに懸垂下降する為だけに張っていた  
アイスクライミングをまるでフリーの様に登るムーブというのを初めて生で拝見した  
アイスコンペってあんな方々が出場してるに違いないと思いながらも  
でもフリーソロは余程の自信がないとできない・・・お姉さんは落ちない自信があるのだなあ・・・  
と感心する事しきり・・・ 登るたびに堪能させて頂く

せっかく なんとかつかめてきたかな?と思ったものの  
今シーズンはもう終わりかな? また 来シーズンには1から出直しかあ・・・と思いつつ  
12:00 南沢小滝を後にする・・・  
13:30頃だったかな?・・・美濃戸の駐車場到着

今回 頼りっぱなしの私は かなり情けない・・・とは思いつつも  
計画段階で「個人の体力に合わせて団体装備は振り分ければ良いのだから 準備担当になったからといって  
自分が全て持つ必要はない アルパインはスピードも重要な要素の一つなのだから 遅れるようなら  
荷物は体力のある他のメンバーに任せるように・・・」のリーダーの言葉に甘え  
それもメンバーシップの1つかもしれないと自分で納得し  
とにかく 全行程 できる限り遅れず 一緒に行動できる事だけを1番に考えた

二人には私が参加する事で負担になった面もあったかもしれないと ずっと気にしていたのだが  
「今回は とても楽しかった!!」 という 二人の笑顔に救われた気がした

初日赤岳主稜登攀後 に下山する途中で 先行する常谷さんが はるか下部で 一人大きな歓声を  
八ヶ岳に響かせていたのを 上部を下山中の 勅使河原さんと二人で聞いて きっとかなり嬉しかったんだね!!  
と・・・話しつつ もちろん私にとっても 初めての冬季登攀・・・無事 楽しめたのも リーダーのおかげ・・・  
行者小屋に下山できた瞬間 「ありがとうございました」・・・と思わず頭を下げた

感動の赤岳主稜冬季登攀 南沢小滝アイスクライミング  
本当に楽しめました!!  
同行の二人に ひたすら感謝・・・